

(3) 防災機能

防災機能として、自然災害の防止・緩衝、人為災害の防止・緩衝、避難、災害に強い都市構造の形成、多様な防災活動拠点の確保の視点から分析・評価を行います。

1) 自然災害の防止・緩衝

本町では阿久比川・十ヶ川流域がはん濫した場合の浸水予想区域のほか、大雨や地震により、万が一ため池の堤体が決壊した場合の浸水区域が予測されています。これらの予測される水害を緩衝する機能を有する緑地として、遊水機能を持つ水田があげられ、防災の面からも保全を図ることが重要となります。

また、土砂の流出、土砂の崩壊の防備その他山地災害の防備を図る必要のある森林は、崩壊防止のために土壌保持や下層植生が発達できる森林の維持に努めることが求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
自然災害の防止・緩衝	保水機能・遊水機能を有する緑地	浸水予想区域（洪水ハザードマップ、ため池ハザードマップ）周辺の水田
	土砂流出、土砂崩壊を防ぐ樹林	保安林 急傾斜地崩壊危険区域、山地災害危険地区などの樹林地

2) 人為災害の防止・緩衝

高速道路や主要幹線道路での騒音・大気汚染、都市火災の危険性のある地区では、騒音や大気汚染の緩和や火災時の延焼防止のために、街路樹の整備や市街地内の都市公園などのオープンスペースの確保などが求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
人為災害の防止・緩衝	主要幹線道路における緩衝緑地としての緑	知多半島道路、道路（街路樹）など
	延焼防止、遅延機能を有する市街地のオープンスペース	都市公園、農地

3)避難

地震や風水害時に発生する災害から人命を守る避難地や防災活動拠点となる緑地の適正な維持管理が必要となります。

本町は、近隣公園以上のオープンスペースが市街地内に少ないため、避難拠点となる緑地の確保とともに、各拠点につながる安全な避難ルートを確保する必要があります。

また、屋外避難場所となる公園には、防災機能を持った施設を整備し、機能強化を図ることが求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
避難	避難場所の緑地	都市公園、公園、グラウンド、阿久比スポーツ村など
	避難困難地域内の一団となった農地	市街化区域内農地

4)災害に強い都市構造の形成

市街地などにおいては、都市公園や防災遮断帯緑地、河川緑地、緑化された幹線道路などの延焼遮断空間を形成するための緑地の確保を図る必要があります。

視点	分析要素	対象となる緑地
災害に強い都市構造の形成	火災の危険を防除する地域	準防火地域内の公園 など
	延焼遮断空間	都市公園、河川、道路（街路樹） など

5)多様な防災活動拠点の確保

救助・救援活動の拠点、ヘリコプターの離着陸などの機能を有する緑地やオープンスペースは、救護・復旧物資の集配・備蓄など防災活動拠点としての機能の確保を図ることが求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
多様な防災活動拠点の確保	防災活動拠点	阿久比スポーツ村、ふれあいの森
	災害廃棄物一時集積場所	多目的広場（阿久比中学校横）
	緊急輸送基地・集積地	阿久比中学校

■防災機能を有する緑地の評価

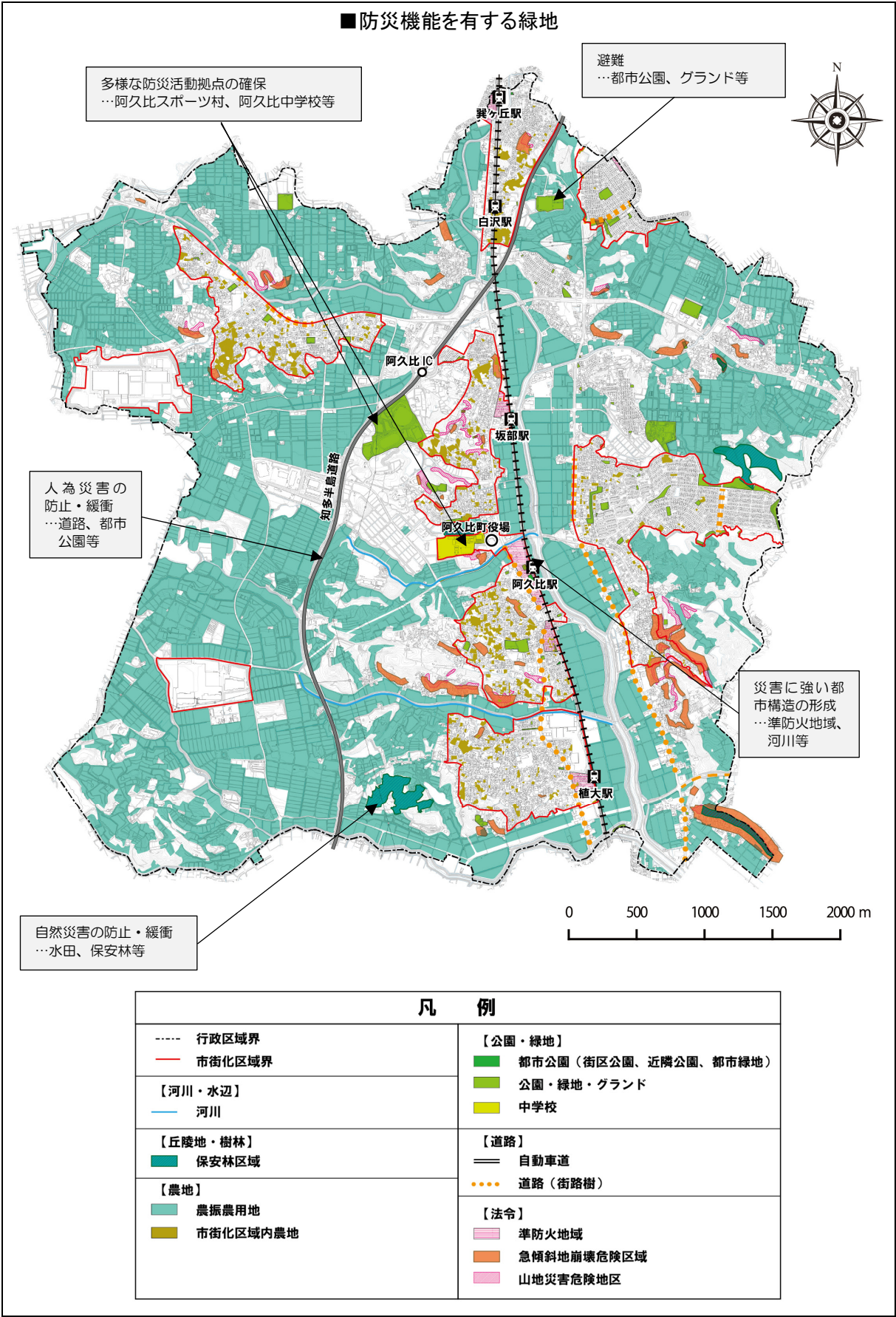
対象となる緑地		防災機能				
		自然災害の 防止・緩衝	人為災害の 防止・緩衝	避難	災害に強い 都市構造の 形成	多様な防災 活動拠点の 確保
河川 ・水辺	前田川(ホタル、水際には植生が繁茂、環境に配慮された護岸)				●	
	殿越川(殿越川景観遊歩道)				●	
丘陵地 ・樹林	保安林	●				
農地	農業振興地域農用地区域	●				
	市街化区域内農地		●	●		
公園 ・緑地	都市公園(街区公園、近隣公園、都市緑地)		●	●	●	
	ふれあいの森(ホタル養殖場)					●
	阿久比スポーツ村			●		●
	グランド(白沢、草木、板山)			●		
	ちびっ子広場(遊園)		●			
	普通公園(陽なたの丘中央公園等)		●	●		
	緑地等(高根台緑地、陽なたの丘緑地等)		●			
	阿久比中学校					●
道路	知多半島道路(阿久比PA、阿久比IC)		●			
	道路(街路樹)		●		●	
法令	準防火地域内の公園等				●	
	急傾斜地崩壊危険区域の樹林	●				
	山地災害危険地区の樹林	●				

<知多東部線 街路樹>



<ふれあいの森>





(4) 景観形成機能

景観形成機能として、地域を代表する郷土景観、地区や住区の良い景観、優れた景観の眺望点、ランドマークとなる場所、景観構成のバランス、都市景観の創出の視点から分析・評価を行います。

1) 地域を代表する郷土景観

本町の代表的景観は、阿久比川を軸に両側に広がる水田と、市街地の後背に連なる丘陵地の樹林、板山高根湿地などがあります。

また、史跡など歴史的風土を感じさせる社寺林やホタルや花かつみに関連した公園などがあり、適切な維持管理が求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
地域を代表する郷土景観	都市緑化の骨格を形成する河川、緑地	阿久比川水系を軸に広がる農地と丘陵地の景観
	知多半島有数の景観	板山高根湿地
	史跡周辺の緑地	坂部城跡、二子塚古墳 板山長根古窯、久松・松平家葬地 など
	有形民俗文化財の山車を有する社寺境内の緑	神明社、大山祇神社、熱田社、八幡社と社寺林
	都市の特徴となる公園・緑地	ふれあいの森、花かつみ園 など

2) 地区や住区の良い景観

土地区画整理事業によって創出された住宅地では、土地の区画形状が整えられ、道路、公園・緑地などの整備が実施されています。

また、宮津地区の旧集落内では、黒い板塀の建物が多く分布していましたが、近年、空家となり、取り壊しや新築の住宅の建替が進み、歴史的な雰囲気は徐々に失われています。

視点	分析要素	対象となる緑地
地区や住区の良い景観	良好な景観を形成している地区	土地区画整理事業（卯坂、草木、坂部駅西、阿久比駅前、宮津特定、宮津板山、卯坂南部）地内で整備された公園や街路など 宮津地区のまちなみ など

3) 優れた景観の眺望点

阿久比川の堤防や秋葉神社、ふれあいの森、オアシス橋など、市街地を一望できる場所の充実、植大地区（権現山周辺）からの丘陵地景観の保全が求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
優れた景観の眺望点	市街地を一望できる眺望点	阿久比川堤防、秋葉神社（宮津公園）、ふれあいの森（展望台）、オアシス大橋 など
	丘陵地がみられる場所	植大地区（権現山周辺）の丘陵地

4)ランドマークとなる場所

本町のシンボルとなる景観として、新庁舎となった阿久比町役場のほか、ふれあいの森などの公園・緑地、社寺林などがあります。

また、阿久比川周辺の平坦地となだらかな丘陵地形で構成されています。市街地の景観は視認性に富み、アイストップとなる景観として丘陵地景観などがあります。

視点	分析要素	対象となる緑地
ランドマークとなる場所	シンボルとなる景観	阿久比町役場周辺、城山公園、阿久比スポーツ村、ふれあいの森 熱田社、箭比神社などの社寺林 阿久比中学校などの桜 名鉄駅や電車からみる田園風景 など
	アイストップとなる景観	植大地区（権現山周辺）や町東部の丘陵地 阿久比町役場、町立図書館周辺 熱田社（天然記念物の楠）

5)景観構成要素のバランス

優れた景観は、特徴的な主たる景観要素だけでなく、その周辺や眺望の中間に位置する副次的な景観要素についても保全・創出の必要性は高い場合が多く、町内では都市緑化の骨格となる河川と一体になった農地は、景観構成のバランス上保全が必要な緑となっています。

視点	分析要素	対象となる緑地
景観構成要素のバランス	市街地を取り巻く農地	農業農振地域農用地

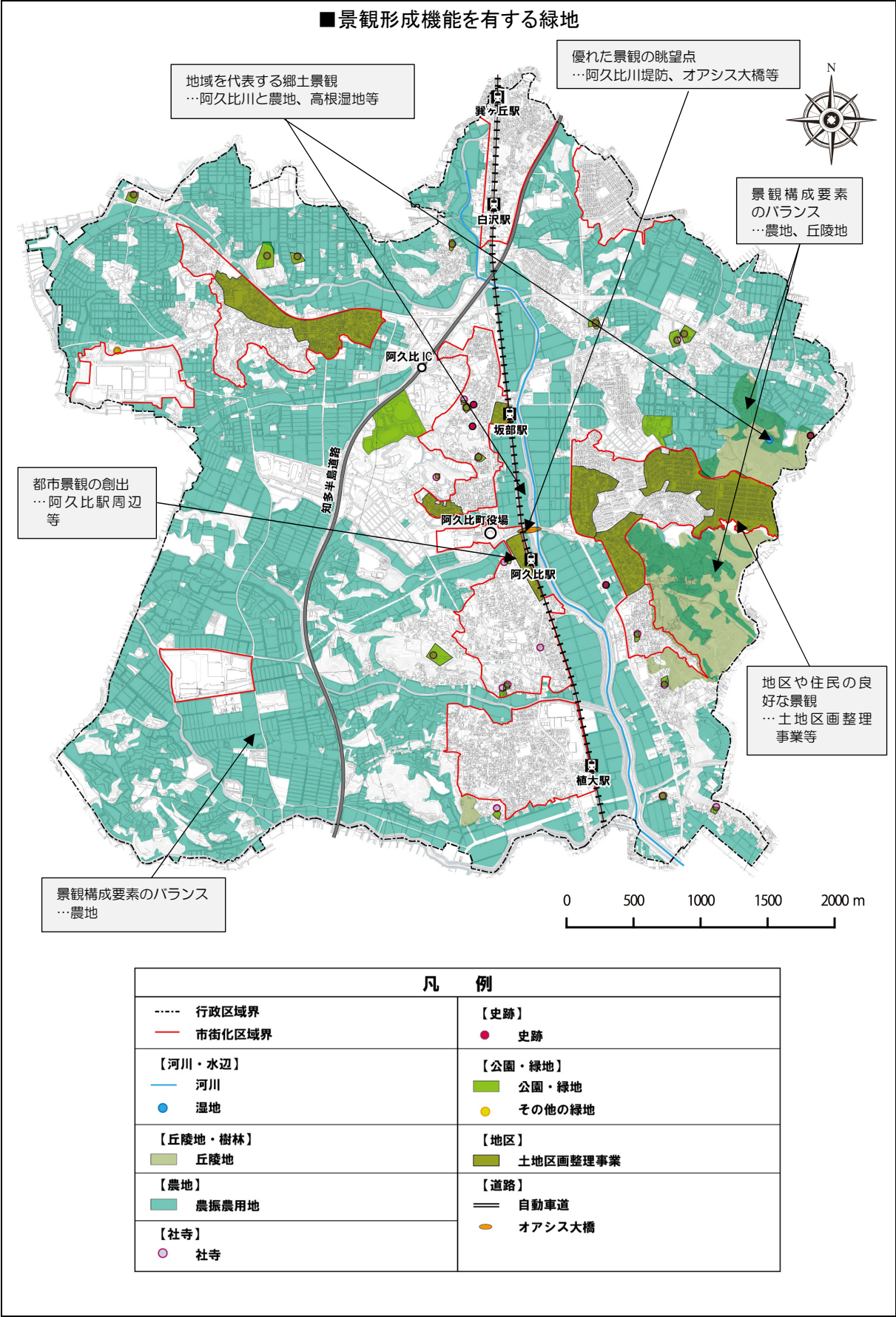
6)都市景観の創出が必要な地区

ターミナル駅周辺など、都市景観を向上させる必要のある地区や向上する可能性の高い地区として、町の玄関口となる阿久比駅や阿久比町役場周辺、知多半島有料道路のパーキングエリア周辺やインターチェンジ周辺があります。

視点	分析要素	対象となる緑地
都市景観の創出が必要な地区	ターミナル駅周辺	阿久比駅周辺 阿久比町役場周辺 など
	知多半島道路PA、IC周辺	阿久比PA、IC周辺

■景観形成機能を有する緑地の評価

	対象となる緑地	景観形成機能					
		地域を代表する郷土景観	地区や住区の良好な景観	優れた景観の眺望点	ランドマークとなる場所	景観構成要素のバランス	都市景観の創出が必要な地区
河川・水辺	阿久比川(ホテル、水鳥・陸鳥、ヨシ群落やワンド)	●		●			
	板山高根湿地周辺(ハッチョウトンボ、シラタマホシクサ)	●					
丘陵地・樹林	植大地区(権現山周辺)	●		●	●		
	町東部丘陵地	●			●		
農地	農業振興地域農用地区域	●				●	
社寺	熱田社(天然記念物の楠)(山車)	●			●		
	熊野神社(シイの多い林)				●		
	箭比神社(スギ、シイの多い林)				●		
	多賀神社(シイの多い林)				●		
	清来寺周辺(クロマツ林)				●		
	秋葉神社:草木(シイの多い林)				●		
	秋葉神社:宮津(宮津公園)			●	●		
	秋葉神社:卯之山(クロマツの多い林)				●		
	大山祇神社(ヤブミョウガ、オニユリなど)(山車)	●			●		
	八幡神社:白沢				●		
	八幡神社:大古根(山車)	●			●		
	八幡神社:草木				●		
	八幡神社:坂部、植				●		
	神明社:横松(山車)	●			●		
	神明社:植				●		
	縣神社				●		
	阿久比神社				●		
	天満社				●		
	津島神社				●		
	洞雲院(知多四国霊場めぐり札所)				●		
	安楽寺(知多四国霊場めぐり札所)				●		
	観音寺(知多四国霊場めぐり札所)				●		
史跡	坂部城跡	●			●		
	二子塚古墳(宮津公民館隣)	●					
	板山長根古窯	●					
	久松・松平家墓地(洞雲院)	●					
公園・緑地	ふれあいの森(ホテル養殖場)	●		●	●		
	阿久比スポーツ村				●		
	白沢ホテルの里	●					
	花かつみ園(下芳池)	●					
地区	阿久比駅周辺(駅前広場・緑地)						●
	阿久比町役場周辺				●		●
	土地区画整理事業のエリア		●				
	宮津地区まちなみ		●				
道路	知多半島道路(阿久比PA、阿久比IC)						●
	オアシス橋			●			



(5) 生物多様性機能

生物多様性機能として、生息・生育環境の多様性、生態系サービスにより分析・評価します。

1) 生息・生育環境の多様性

都市の緑地などは、動植物の生育地又は生息地として、生物多様性の確保に資するポテンシャルを有するものであり、樹林や社寺林、河川、湿地、ため池などがあります。

また、法令や条例による継続性が担保された緑地として、保安林や史跡周辺の緑地などがあります。

緑地の消失、縮小、分断化の進行による動植物の生息地又は生育地の孤立を防止する緑地として、まとまりのある樹林や河川の保全が必要となります。

視点	分析要素	対象となる緑地
生息・生育環境の多様性	生物多様性確保のポテンシャルを有する緑地・水面	植大地区（権現山周辺）や町東部の丘陵地の樹林 箭比神社、大山祇神社などの社寺林 阿久比川水系、十ヶ川水系 板山高根湿地、草木池周辺の湿地 山田池、西狐谷池など
	法令・条例により確保されている緑地・水面	保安林、史跡周辺の緑地 など
	生態系ネットワーク形成の状況	植大地区（権現山周辺）や町東部の丘陵地の樹林 阿久比川水系、十ヶ川水系の河川

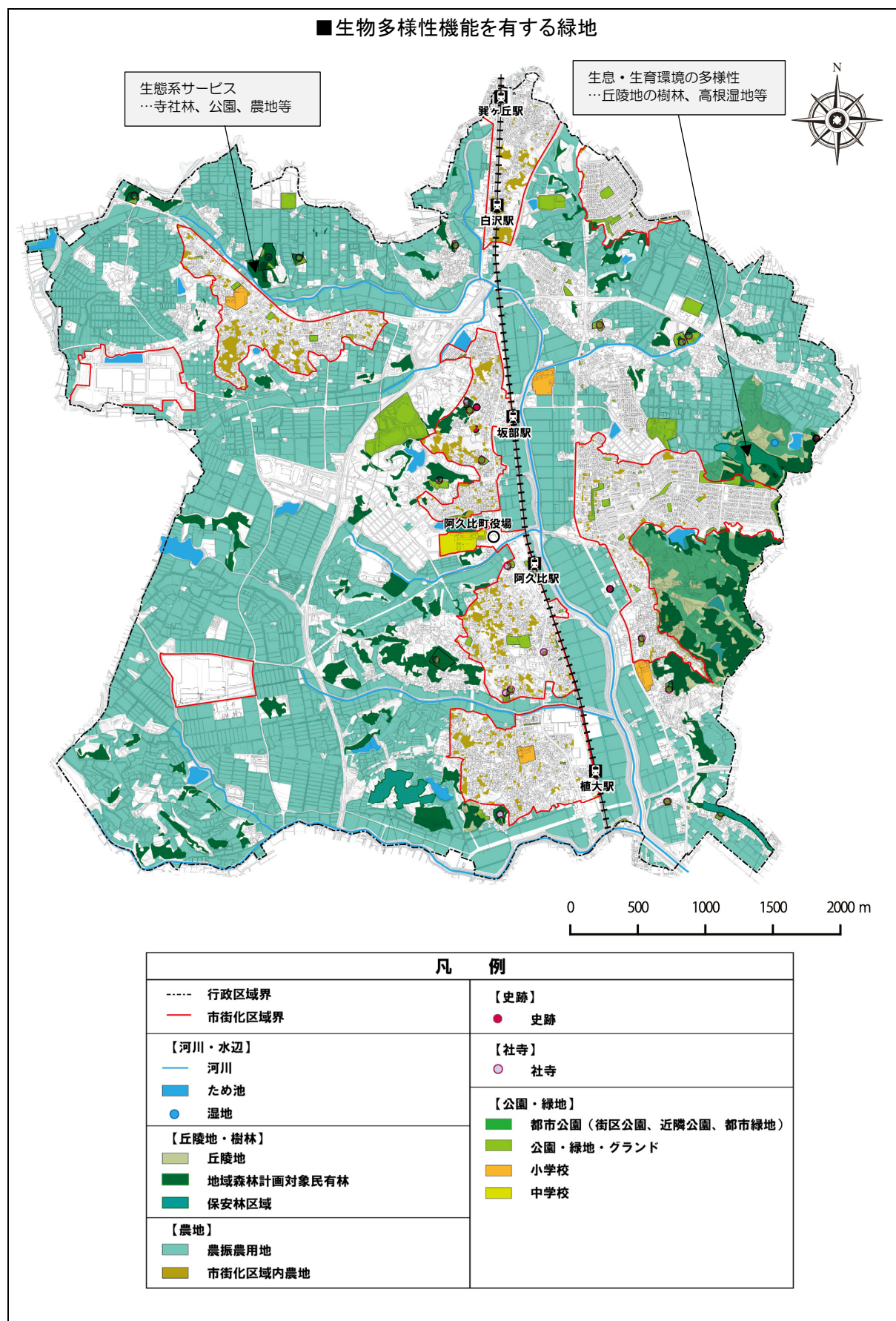
2) 生態系サービス

都市においても、人間の生活は生態系サービス（私たちの暮らしが得ている利益）に依存しており、樹林や公園、公共施設緑地、農地、河川などは、温室効果ガスの吸収や水量の調整などの機能を有しています。

視点	分析要素	対象となる緑地
生態系サービス	温室効果ガスを吸収する樹林地	植大地区（権現山周辺）や町東部の丘陵地の樹林
	透水効果を有する緑地	農業振興地域農用地区域 植大地区（権現山周辺）や町東部の丘陵地の樹林 阿久比川水系、十ヶ川水系の河川、板山高根湿地、草木池周辺の湿地、山田池、西狐谷池 など

■生物多様性機能を有する緑地の評価

対象となる緑地		生物多様性機能	
		生息・生育環境の多様性	生態系サービス
河川・水辺	阿久比川(ホタル、水鳥・陸鳥、ヨシ群落やワンド)	●	●
	矢勝川(彼岸花、水際には植生が繁茂、親水施設、河川美化活動等の愛護活動、サイクリングロード)	●	●
	前田川(ホタル、水際には植生が繁茂、環境に配慮された護岸)	●	●
	草木川(ホタル、水際には植生が繁茂、勾配の緩やかな河岸や魚道、サイクリングロード)	●	●
	福山川(水際には植生が繁茂)	●	●
	殿越川(殿越川景観遊歩道)	●	●
	鎌子川	●	●
	砂走川	●	●
	板山高根湿地周辺(ハッチョウトンボ、シラタマホシクサ)	●	●
	山田池(カモなどの水鳥)	●	●
	草木池周辺(カモなどの水鳥)	●	●
	阿屋免池(カモなどの水鳥)	●	●
	西狐谷池周辺(ヒヨドリなどの陸鳥、ヒシが覆う)	●	●
	屋郷池(アラカシ、ヤマモモなどの林と水辺)	●	●
	大池脇池(樹林と一体化した水辺)	●	●
丘陵地・樹林	植大地区(権現山周辺)	●	●
	町東部丘陵地	●	●
	地域森林計画対象民有林		●
農地	農業振興地域農用地区域		●
	市街化区域内農地		●
社寺	熱田社(天然記念物の楠)(山車)	●	
	熊野神社(シイの多い林)	●	
	箭比神社(スギ、シイの多い林)	●	
	多賀神社(シイの多い林)	●	
	清来寺周辺(クロマツ林)	●	
	秋葉神社:草木(シイの多い林)	●	
	秋葉神社:宮津(宮津公園)	●	
	秋葉神社:卯之山(クロマツの多い林)	●	
	大山祇神社(ヤブミョウガ、オニユリなど)(山車)	●	
	八幡神社:白沢	●	
	八幡神社:大古根(山車)	●	
	八幡神社:草木	●	
	八幡神社:坂部、植	●	
	神明社:横松(山車)	●	
	神明社:植	●	
	縣神社	●	
	阿久比神社	●	
	天満社	●	
	津島神社	●	
	洞雲院(知多四国霊場めぐり札所)	●	
	安楽寺(知多四国霊場めぐり札所)	●	
	観音寺(知多四国霊場めぐり札所)	●	

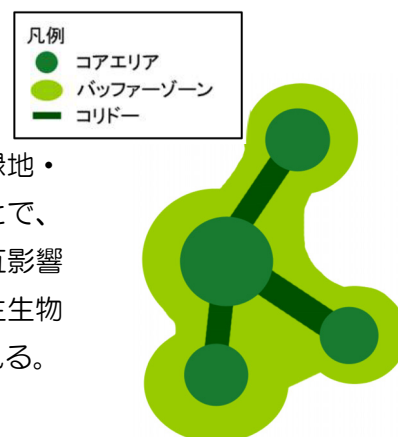


【補足分析：生態系ネットワークの状況】

生態系ネットワークとして、動植物の生息地又は生育地となるポテンシャルを有する森林は、町の東部、南部にまとまっています。

※生態系ネットワーク(エコロジカルネットワーク)

- 野生生物が生息・生育する様々な空間（森林、農地、都市内緑地・水辺、河川、海など）がつながる生態系のネットワークのことで、生物多様性の拠点（コアエリア）と、その地域の外部との相互影響を軽減するための緩衝地域（バッファゾーン）、拠点間の野生生物の移動・分散を可能とする生態的回廊（コリドー）で形成される。



■エリアの設定方法

生物多様性に配慮した緑の基本計画策定の手引き(平成30年(2018年)4月国土交通省)より

エコロジカルネットワークの形成の状況の評価指標として、日本全国でみられるコゲラの生息地又は生育地となるポテンシャルを有する連続性のある緑地など（森林）の状況を評価する。

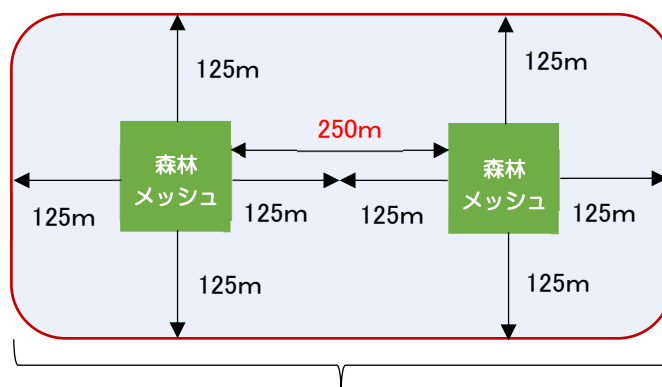
15ha 以上の一体となった森林をエコロジカルネットワークの拠点※¹とし、それぞれの森林メッシュから 250m 以内の森林メッシュを連続性のある緑地※²とみなしている。（各森林メッシュに 125m のバッファを設定し、バッファが重なり合うメッシュを 250m 以内の連続する一つの緑地として判定している。）

※1：次頁に図示している緑の森林メッシュは 100m×100m=1ha であるため、15 個以上のメッシュが集まっている状態で、15ha 以上（＝拠点）となる。

※2：上記に加え、手引きでは「緑色の森林メッシュから 250m 以内の範囲を連続性のある緑地とみなす」とされていることから、連続性を確認するために、各森林メッシュから 125m のバッファを設定し、下図のように連続性を確認している。

上記の方法で連続性を確認し、水色のバッファが重なる中に、15 個以上のメッシュが存在していれば拠点という判断になりなる。

なお、メッシュは緯度経度の関係で、図上の見た目は正方形ではない。



連続する緑地

